



CASIO View

2017.4.1
2017.9.30

時計・教育事業の拡大と 事業構造改革により収益性の改善を図ります。



代表取締役 会長
梶尾 和雄



代表取締役 社長
梶尾 和宏

当上半期の実績

当上半期の売上高は1,535億円、営業利益は146億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比56%増の大幅増益となりました。時計事業は高価格帯のGPS、電波、スマートフォンリンクの3Wayの「G-SHOCK」や、中価格帯のBluetooth®でスマートフォンと連携する「G-STEEL」の新製品効果で好調に推移しました。教育事業は海外の新入学向け関数電卓が好調に推移し、電子辞書も堅調に推移しました。楽器は生産体制の整備が進み、生産性が向上しました。システムセグメントは構造改革が効果を発揮し黒字となりました。

今後に向けた下半期の重点戦略

時計事業は来年の「G-SHOCK」誕生35周年を契機にマーケティングを強化し新市場を創造します。商品では「G-SHOCK」の記念モデルシリーズを含むラインアップを拡充し、高価格帯の3Wayモデルを本格的に拡大します。中価格帯では「G-STEEL」および「EDIFICE」のラインアップを拡大します。営業戦略では「G-SHOCK」の35周年記念イベントにおけるグローバル商談会を通じて、他ブランド品目の認知度も向上します。また、全世界の若者ファンの拡大に向けたSNSによる情報発信を進めてまいります。

教育事業では、強い「GAKUHAN」のビジネスモデルで関数電卓・電子辞書の事業拡大を行います。カラーグラフ関数電卓を先進国を中心に拡大し、海外では未開拓市場の拡大を加速します。11月には英会話学習ツールの新製品を投入しました。また通信教育業者や英語対応能力検定協賛会社などの、非店舗流通の開拓によるBtoBの拡大も目指します。

さらに事業拡大と事業構造改革に向けて、強い技術を融合させた新製品の開発、また事業統合による効率化を強力に推進します。電子楽器は電子キーボードの事業強化を図ります。自社生産体制の強化により安定的な高品質の製品供給とコスト体質の改善を図ります。ラインアップを見直し、モデル数を半分に絞り込んで収益力を強化し、多様な音楽に対応する新音源を開発します。

デジタルカメラでは、耐衝撃・防水・防塵等の機能を備えた新製品「G'z EYE」により第二の独自ジャンルの確立を目指すとともに、業務用を含めた用途開発による新市場を創造します。また第一の独自ジャンルとして確立した自撮り専用機のTRシリーズでは、化粧用コンパクトのようなスタイルの「TR Mini」によりラインアップを拡充し、他社製品の追随を許さない先進的機能の開発によりユニークな自撮り文化の完成度を高めます。

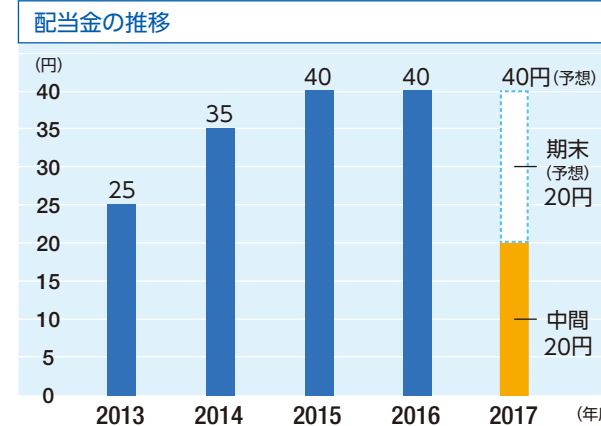
システム事業では、ハンディターミナルや電子レジスターなどを主軸に収益力を増強します。

新規事業では、「2.5Dプリントシステム」などの新事業を早期に立ち上げます。世界初の電磁波造形技術により、布や

石や皮などの素材感を持つ試作品を従来より大幅に短い時間で出力できる「2.5Dプリントシステム」は、10月に開催されたアジア最大級のITとエレクトロニクスの国際展示会「CEATEC JAPAN」でその革新性と市場性を高く評価され、初のトリプル受賞を果たしました。自動車、建材、アパレルなど、国内外の幅広い業種の企業からの引き合いが急増しており今年度内に受注をスタートする予定です。

株主の皆さまへのメッセージ

当社は業績に連動した株主還元という方針の下、経営体質の強化を確実に進めてまいります。株主の皆さまへの配当については安定配当を基本方針としており、今回の中間配当の額は20円とさせていただきます。今後も株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営の改革に全力を尽くしてまいります。



第2四半期連結累計期間の業績		
売上高	153,528百万円	前年同期比 98.0%
営業利益	14,639百万円	前年同期比 108.6%
経常利益	13,654百万円	前年同期比 166.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,953百万円	前年同期比 155.8%

CONSUMER

コンシューマ



電卓 MP-12R

割り算の答えと余りを簡単に算出できる電卓

調剤薬局や物流倉庫など、端数を把握する必要がある現場で役立つ電卓です。通常の電卓で余りを求めるよりも計算回数を減らすことができ、効率化に役立ちます。



2017年7月21日発売

EDIFICE EQB-800

エディフィス

カーレースの醍醐味を表現したEDIFICE

モータースポーツにインスパイアされたデザインと機能を併せ持つクロノグラフです。スマートフォンと連携し時刻情報を取得する「Connectedエンジン」搭載。



2017年8月10日発売

joy study

JY-L04/L05

ジョイスタディ

おもてなし英語力を磨くデジタル英会話学習機

「英語応対能力検定」の公認学習機。JY-L04は販売/飲食/一般の各試験に、JY-L05は宿泊/鉄道/タクシー/一般の各試験に対応した公認教材を収録しています。

英会話学習機



2017年4月21日発売

BABY-G

BGS-100

ベビーG

普段使いが楽しめる歩数計測機能付きBABY-G

ファッションアイテムとして使えるデザインでありながら、BABY-G初の3軸加速度センサー搭載により、時計を着用して歩行すると自動で歩数を計測できます。

時計



2017年8月4日発売

EXILIM EX-ZR4100

エクシム

自分好みの美肌を細かく設定できるデジタルカメラ

「肌のなめらかさ」、「肌の色」、「顔の明るさ」、「立体感」などの項目を細かく設定でき、自分好みの自然な美肌が撮影できます。超広角19mmレンズ搭載。

デジタルカメラ



2017年8月25日発売

電卓 MW-C20C

自分らしさを色で表現できるカラフルな電卓

カジュアルでポップなデザインのカラフル電卓です。「My Style」をテーマに選びぬいた全8色のカラーパリエーションから、自分の好みに合わせて選べます。

電卓



2017年8月25日発売

G-SHOCK

BIG BANG BLACK

Gショック

G-SHOCK誕生35周年記念モデル第1弾

来年4月に誕生35周年を迎えるG-SHOCKの記念モデルです。新しく採用した塗装技術により、光沢感を抑えたマットブラックを実現しました。

時計



2017年9月8日発売

Privia

PX-870

プリヴィア

音の響きと広がり磨きをかけたデジタルピアノ

グランドピアノの時間経過に伴う音質の変化を表現するとともに、共鳴音の違いを表現するストリングレゾナンスも進化させ、より自然な響きを可能にしました。

電子楽器



2017年9月29日発売

G-SHOCK GST-B100

Gショック

大型のディスク針を採用したG-STEEL (Gスチール)

異素材を組み合わせたベゼルが特徴のG-STEELシリーズ初のアナログ表示によるクロノグラフを採用。ディスク針の動きで、ストップウォッチの経過時間や充電量を色の变化で表現します。

時計



2017年9月15日発売

ハンディターミナル

IT-G400

Android™を採用したハンディターミナル

アプリケーションを業務に合わせてカスタマイズしやすくなるだけでなく、Google MapsやGmailなど、Google社のサービスが利用できます。

ハンディターミナル



2017年6月発売

SYSTEM

システム



ビジュアルコミュニケーションを超えた新しい市場を開拓

エクストリームスポーツに適した自分撮り タフカメラ

2017年10月27日に発売が開始された“G'z EYE(ジーズアイ)”は、過酷な環境下で行われるエクストリームスポーツの撮影に適したタフカメラの新ブランドです。カメラ本体の「GZE-1」は、4m落下耐衝撃性能や50m防水性能などを備えたタフネスボディに、決め技の瞬間などをスローモーションで撮影する「ドラマチックスロー機能」を搭載しています。G'z EYEの開発とその特長についてコンシューマ開発本部の松原直也に聞きました。

コンシューマ開発本部
開発統轄部
第一商品企画部部长

松原 直也



男性の自分撮りカメラとは？

以前より「G-SHOCKのようなカメラを」との要望はありましたが、それだけでは商品になりません。その一方で、当社の女性向け自分撮りカメラは、中国や台湾で「自拍神器(自分撮りの神の機械)」と呼ばれるほどのご好評をいただいています。彼女たちには撮った写真をSNSにアップして自分のブランド力を高めるために、高価なカメラに投資するというスタイルがあります。

それならば男性はどうだろうと考えてみると、自分が熱中していることやライフスタイルを発信したいのではと考えました。その象徴的なものが、スケートボードやサーフィン、BMXなどのエクストリームスポーツでしょう。彼らがどの



G'z EYE

G'z EYE (ジーズアイ)

ように撮影しているのを見ると、サーフィンや自転車などの道具や自分自身にカメラを装着して撮っています。さらに仲間が同じスポーツをして追いながら撮影しています。いずれも転倒などのリスクや過酷な使用環境があり、男性の自分撮りカメラはG-SHOCKと同じ世界観で創れると考えてG'z EYEを開発しました。

タフネスと臨場感を追求

カメラ本体である「GZE-1」は、過酷なエクストリームスポーツでの使用に耐える4m落下耐衝撃性能、50m防水性能、IP6Xの防塵性能、-10℃の耐低温性能を備えました。女性の自分撮りは「きれい、かわいい」の追求ですが、エクストリームスポーツをする男性が求めるのは「カッコいい」でしょう。その「カッコいい」を最大限に引き出すために、決め技などの臨場感と躍動感を高める超広角レンズを採用し、動画の一部だけをスローモーションで撮影する「ドラマチックスロー機能」を搭載しました。これまでスロー動画は、撮影後に編集することが一般的でしたが、「GZE-1」はボタンを押すだけで、その前後やボタンを押す前、押した後の何秒間かをスローモーションで撮影でき、その場でそのままSNSにアップすることができ、撮るためだけでなく、まさにコミュニケーションツールとなっています。

発売前にプロのサーファーやダンサーに使ってもらいまし

たが「カッコいい、持ちやすい、広角とドラマチックスローで印象的な映像が撮れる」とご好評をいただきました。私どもが想像していないような使い方、今まで撮れなかった動画を撮ってSNSにアップしてもらえることを楽しみにしています。

新しい画像を通じたコミュニケーション

当社は「新しい画像を通じたコミュニケーションの創造」をテーマに、ユニークなカメラを開発してきました。1995年に発売した液晶モニター付きデジタルカメラ「QV-10」は、撮った画像をそのままモニターで見て楽しむコミュニケーションを実現しました。2002年発売の世界最薄のカードサイズ液晶デジタルカメラ「EX-S1」は、常にカメラを持ち歩き、いつでもどこでも撮影して画像をそのままモニターで見るコミュニケーションを実現しました。

現在、こうしたいつでもどこでも写真を撮って楽しむビジュアルコミュニケーションツールはスマートフォンに移行しました。当社は、スマートフォンでビジュアルコミュニケーションの楽しさを知った方の、よりハイレベルなビジュアルコミュニケーションを楽しみたいという要望に応えるツールを開発していくことが役目であると考えており、G'z EYEもその一つです。今後もカメラという概念を超えた画像の楽しみ方を追求するチャレンジを続けていきたいと思えます。



山形カシオに時計専用の新工場を建設

今年7月、国内生産拠点の山形カシオは、時計専用の新工場建設に着工しました。来年4月に竣工し、5月より稼働の予定です。新工場では、基幹部品の精密歯車と駆動装置であるアナログムーブメントを製造するほか、時計の完成品まで一連の工程で効率よく組み立てることが可能です。また、ごみやちりの進入を徹底して排除するクリーンルームの面積が1.5倍となり、将来的な生産能力の拡大にも対応できます。

TOPICS
1

水銀フリープロジェクターがドイツの博物館で採用

TOPICS
2

当社の水銀フリープロジェクターがドイツのベルリンにある自然史博物館 (Museum für Naturkunde) で採用されました。同博物館の目玉展示であるティラノサウルス・レックスに関する説明を透明のガラススクリーンに投影するにあたり、天井から吊るして設置できるスリムな形状、長寿命光源、起動がスピーディーな点が評価され、水銀フリーのプロジェクター11台の導入に至りました。

「Dow Jones Sustainability World Index」に初選定

世界の代表的な社会的責任投資(SRI)指標である「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)」の構成銘柄に初めて選定されました。DJSIは、経済・環境・社会の3つの側面から企業の持続可能性(サステナビリティ)を測定する株式指標で、2017年度は世界の大手企業2,528社のうち319社(日本企業は32社)がDJSI Worldに選定されました。

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
In Collaboration with RobecoSAM

TOPICS
3

当社の3製品がiFデザイン賞を受賞

高機能ウォッチEDIFICE「EQB-600D」、デジタルカメラEXILIM Outdoor Recorder「EX-FR100/EX-FR200」、電子ピアノCELVIANO Grand Hybrid「GP-500BP」の3製品が世界的に権威のある工業製品デザイン賞であるドイツのiFデザイン賞(iF product design award 2017)を受賞しました。選定は、デザイン面に加えて品質・価格・環境への配慮なども含めて審査され、今回世界59ヶ国から5,500件を上回る応募の中から選出されました。

EDIFICE
EQB-600DEXILIM
Outdoor Recorder
EX-FR100/200CELVIANO
Grand Hybrid
GP-500BPTOPICS
4

耐衝撃ウォッチ「G-SHOCK」世界累計出荷1億個を達成

TOPICS
5

当社は、1983年4月に「G-SHOCK」の販売を開始して以来、世界累計出荷が2017年8月末に1億個を達成しました。「G-SHOCK」は「落としても壊れない丈夫な時計を作りたい」という発想から開発を始め、1983年に耐衝撃構造を備えた「DW-5000C」が誕生。タフネスウォッチという新たな分野を築きました。8月31日には山形カシオで記念式典を開催し、最上位シリーズの「MR-G」に「100,000,000」とナンバリングした特別裏蓋の取り付けを行いました*。*販売は予定しておりません。

カシオタイに関数電卓の自動組立ラインを構築

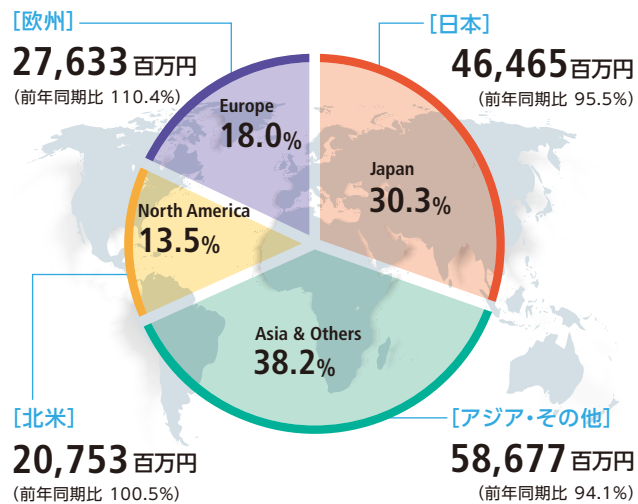
海外生産拠点であるカシオタイに、関数電卓の自動組立ラインを構築し、今年8月より量産を開始しました。これまでは、全ての組み立てを手作業で行っていましたが、自動化装置の導入により1ライン当たりの作業者を約3分の2に減らしたほか、生産能力を1.6倍に向上させました。今後、新ラインを8本まで増強することで、世界中の数学授業で使用されている関数電卓のコスト競争力および生産能力の向上を図ります。

TOPICS
6

業績ハイライト

科目	第2四半期連結累計期間	
	2017年度	2016年度
経営成績		
売上高	(百万円) 153,528	156,700
営業利益	(百万円) 14,639	13,480
経常利益	(百万円) 13,654	8,227
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(百万円) 9,953	6,387
1株当たり 四半期純利益	(円) 40.41	24.92

売上高の地域別構成比



売上高のセグメント別構成比

システム

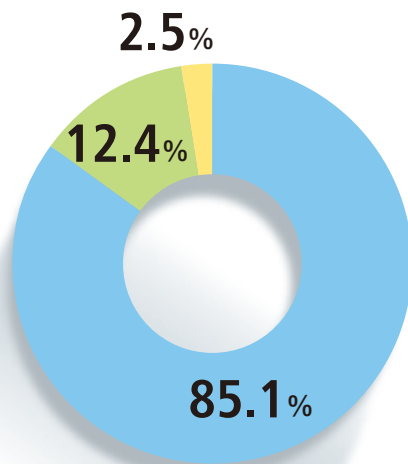
ハンディターミナル、電子レジスター、
オフィス・コンピューター、
データプロジェクター等

売上高 **19,061**百万円
(前年同期比 99.3%)

その他

金型等

売上高 **3,855**百万円
(前年同期比 87.1%)



コンシューマ

ウォッチ、クロック、電子辞書、電卓、
電子文具、電子楽器、デジタルカメラ等

売上高 **130,612**百万円
(前年同期比 98.1%)

合計

153,528百万円
(前年同期比 98.0%)

当第2四半期連結累計期間の業績概要

当上半期における内外経済は、日本や米国では企業収益の改善、良好な雇用環境などを背景に堅調に推移しました。また、欧州や新興国でも総じて緩やかな回復基調で推移しました。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,535億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが1,306億円、システムが190億円、その他が38億円となりました。

時計はBluetooth®でスマートフォンと連携する中価格帯の「G-SHOCK」(G-STEEL)、「EDIFICE」の売上が好調

に推移しました。電卓は海外の新入学向け関数電卓が好調に推移しました。

損益につきましては、コンシューマは169億円、システムは5億円、その他は2億円の営業利益となりました。時計は収益性の高い新製品の販売が好調に推移し、高収益性を確保しました。電卓は海外で関数電卓が好調に推移し収益性を確保しました。システムは構造改革効果により大幅改善しました。また、経常利益は136億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は99億円と大幅改善しました。

通期の業績見通し

現時点での今年度の連結業績予想につきましては、前回予想(2017年5月10日公表)に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を生かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組めます。

2017年度通期業績見通し(連結)

売上高	3,500 億円 (前期比 109.0%)
営業利益	340 億円 (前期比 111.0%)
経常利益	320 億円 (前期比 122.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	225 億円 (前期比 122.2%)

貸借対照表

科目	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度
	(2017年9月30日現在)	(2017年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	237,765	233,447
現金及び預金	63,691	55,197
受取手形及び売掛金	44,716	47,725
有価証券	40,500	43,920
製品	41,082	38,352
仕掛品	4,767	5,606
原材料及び貯蔵品	7,899	8,300
その他	35,681	34,895
貸倒引当金	△571	△548
固定資産	118,744	118,005
有形固定資産	57,771	56,791
土地	33,567	34,090
その他(純額)	24,204	22,701
無形固定資産	7,023	6,784
投資その他の資産	53,950	54,430
投資有価証券	35,208	35,153
退職給付に係る資産	13,616	13,122
その他	5,195	6,222
貸倒引当金	△69	△67
資産合計	356,509	351,452

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度
	(2017年9月30日現在)	(2017年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	75,479	75,495
支払手形及び買掛金	29,061	31,751
短期借入金	150	155
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	3,594	2,593
製品保証引当金	779	772
事業構造改善引当金	594	631
その他	39,301	37,593
固定負債	78,268	79,625
新株予約権付社債	10,018	10,023
長期借入金	61,000	61,000
事業構造改善引当金	784	784
退職給付に係る負債	399	491
その他	6,067	7,327
負債合計	153,747	155,120
(純資産の部)		
株主資本	190,958	185,936
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,058	65,058
利益剰余金	97,254	92,228
自己株式	△19,946	△19,942
その他の包括利益累計額	11,804	10,396
その他有価証券評価差額金	9,575	9,138
為替換算調整勘定	△2,202	△3,573
退職給付に係る調整累計額	4,431	4,831
純資産合計	202,762	196,332
負債純資産合計	356,509	351,452

損益計算書

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	(2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	(2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
売上高	153,528	156,700
売上原価	87,033	92,348
販売費及び一般管理費	51,856	50,872
営業利益	14,639	13,480
営業外収益	630	531
営業外費用	1,615	5,784
経常利益	13,654	8,227
特別利益	507	471
特別損失	31	86
税金等調整前四半期純利益	14,130	8,612
法人税等	4,177	2,225
四半期純利益	9,953	6,387
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,953	6,387

(単位:百万円)

キャッシュ・フローの状況

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	(2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	(2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,456	12,654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,637	△2,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,372	△6,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	122,939	124,364

(単位:百万円)

財務指標

科目	第2四半期連結累計期間	
	2017年度	2016年度
財政状態		
自己資本比率 (%)	56.9	55.9
D/E レシオ* (倍)	0.36	0.40
その他		
設備投資額 (百万円)	3,896	2,241
減価償却費 (百万円)	2,496	2,863

*D/Eレシオ=期末有利子負債/期末自己資本

CASIO HOME PAGE

投資家情報ホーム

詳細はホームページ「投資家情報」でご覧いただけます。

財務情報(業績)

「財務情報」をクリックしてください

<http://www.casio.co.jp/ir/>

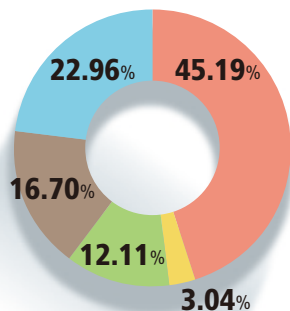
株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	471,693,000株
発行済株式の総数	259,020,914株
株主数	42,422名

所有状況

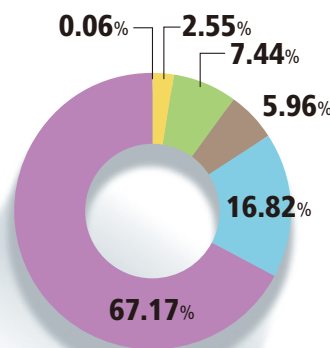
所有者別内訳

金融機関	117,052,813株 (株主数 88名)
証券会社	7,863,961株 (株主数 59名)
その他の法人	31,365,176株 (株主数 345名)
外国法人等	43,254,227株 (株主数 533名)
個人・その他	59,484,737株 (株主数 41,397名)



所有株式数別内訳

百株未満	153,188株 (株主数 3,620名)
百株以上	6,598,869株 (株主数 27,993名)
1千株以上	19,266,816株 (株主数 10,070名)
1万株以上	15,433,414株 (株主数 565名)
10万株以上	43,586,396株 (株主数 131名)
100万株以上	173,982,231株 (株主数 43名)

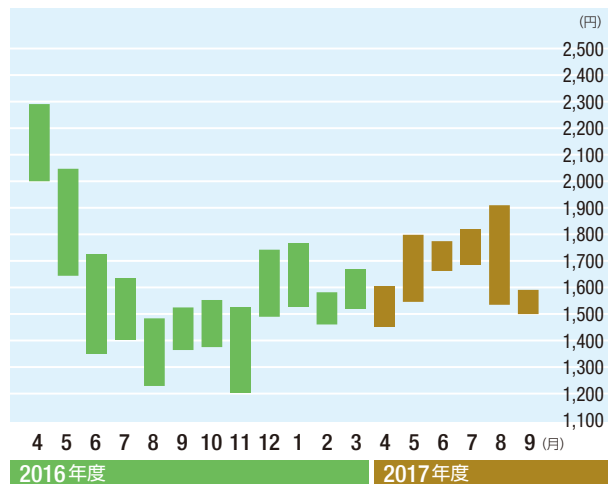


大株主 (2017年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,564	10.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,800	6.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行 退職給付信託口)	13,365	5.43
日本生命保険相互会社	12,985	5.27
有限会社カシオプロス	10,000	4.06
株式会社三井住友銀行	6,215	2.52
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,097	1.66
公益財団法人カシオ科学振興財団	3,350	1.36
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,293	1.34
榎尾 隆司	3,282	1.33

(注1)持株比率は自己株式(12,695,008株)を控除して計算しております。また、自己株式は上記大株主からは除外しております。
(注2)日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)の持株数のうち6,365千株は、株式会社三井住友銀行が議決権行使の指図権を留保しております。

株価の推移



会社概要 (2017年9月30日現在)

商号	カシオ計算機株式会社
英文商号	CASIO COMPUTER CO., LTD.
本社	東京都渋谷区本町一丁目6番2号 TEL : 03-5334-4111 (代表)

設立年月日	1957(昭和32)年6月1日
資本金	48,592,025,877円
従業員数	12,473名(連結)

役員 (2017年9月30日現在)

代表取締役 会長	榎尾 和雄	上席執行役員	持永 信之
代表取締役 社長	榎尾 和宏		榎尾 哲雄
取締役 副社長執行役員	中村 寛		榎尾 隆司
取締役 専務執行役員	高木 明德		中山 仁
	増田 裕一	執行役員	小林 誠
	伊東 重典		矢澤 篤志
取締役 執行役員	山岸 俊之		守屋 孝司
	高野 晋		植原 正幸
	齋藤 春洋		稻田 能之
取締役	石川 博一 (社外取締役)		井口 敏之
	小谷 誠 (社外取締役)		寺田 秀昭
監査役 (常勤)	内山 知之		太田 伸司
監査役	大徳 宏教 (社外監査役)		山下 和之
	戸澤 和彦 (社外監査役)		

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (受付時間 平日午前9時～午後5時)
(ホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 下記の当社ホームページに掲載する。 http://www.casio.co.jp/ir/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引所	東京

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

本報告書に関するお問い合わせ先

カシオ計算機株式会社
総務人事統轄部 総務部
TEL : 03-5334-4845

皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を当選させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6952



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL : 03-5777-3900(平日10:00~17:30) MAIL : info@e-kabunushi.com

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C013080

Waterless
Printing. Naturally.